

令和5年度 【キーボード】 シラバス

教科名	芸術	科目名	キーボード	単位数	2単位
学年	3学年	使用教科書	大人のためのピアノ悠々塾		

1. 教科の目標

キーボードに慣れ親しみ、楽典（コードや和音）の基礎の修得、演奏技術の向上を目指す。

1. 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める、主体的に学習に取り組むことができる。
2. 感性を高め、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動を工夫することができる。
3. キーボードに慣れ親しみ、楽典（コードや和音）の基礎の修得、演奏技術の向上を目指す。

2. 評価規準・評価方法

	(a) 音楽への関心・意欲・態度	(b) 音楽表現の創意工夫	(c) 音楽表現の技能	(d) 鑑賞の能力
評価規準	独奏や合奏に興味・関心をもち、キーボード、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、キーボード演奏、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なキーボード演奏、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 学習プリント	学習の取り組み状況 (観察・聴取) 演奏発表	課題進度状況 学習の取り組み状況 (観察・聴取) 演奏発表	学習プリント

実技テストやチャレンジポイント、授業態度などを総合的に判断して評価します。

3. 学習内容

学期	題材名	月	ねらい	指導内容	評価方法 等
1 学期	楽譜について	4	・読譜力、記譜力を身につけ、演奏に必要な知識を深める。	聴音、リズムアンサンブルで基礎知識を身につける。	(a) 授業態度、学習の取り組み状況(観察・聴取)
	演奏をしよう①	5	指番号に気をつけ両手で演奏することができる。	きらきら星や喜びの歌などを両手で止まらずに弾く。	(a), (c) 授業態度、学習の取り組み状況(観察・聴取)
	色々な楽器を知ろう	6	キーボードと一緒に演奏される事が多い楽器について知り、演奏することができる。	ギターや打楽器の基本的な演奏技能や知識を身に付ける。	(a), (b), (c), (d) 授業態度、学習の取り組み状況(観察・聴取)、演奏発表
	ピアノの歴史を知ろう	7	ピアノの歴史を西洋音楽史と関わらせて理解する	それぞれの時代のピアノの特徴を映像資料などを通して理解する。	(a), (d) 学習プリント
2 学期	連弾しよう	9	連弾演奏におけるそれぞれの役割を理解し、表現を工夫して演奏することができる。	第1ピアノ、第2ピアノの役割を理解し、お互いを意識しながら演奏する。	(a), (b), (c) 授業態度、学習の取り組み状況(観察・聴取)、演奏発表

	演奏をしよう②	10 ・ 11 ・ 12	表現意図を持って個性的、創造的に発表演奏することができる。	表現を工夫し、個性豊かな演奏ができるようにする。	(a), (b), (c), (d) 授業態度、学習の取り組み状況(観察・聴取)、演奏発表
3 学期	音楽について調べよう	1 ・ 2 ・ 3	興味のある音楽について、自らの進路と関わらせて調べ、発表することができる。	音楽作品や演奏家の生涯について調べ、自分の思いや意見も交えながら発表する。	(a) 授業態度、学習の取り組み状況(観察・聴取)、発表